

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

## 『人権』について みんなで考えよう！①



早いもので、今日から12月です。2学期も、残すところあと1ヶ月になりました。師走を迎え気忙しい時期ですが、「人権」という大切なテーマに改めて向き合う時期でもあります。12月10日を「人権デー」、その1週間前からの「人権週間」と定め、全国的な啓発活動が実施される予定です。本年度の「第67回人権週間」は、12月4日(金)から10日(木)までの期間で、「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～」を標語として展開されます。

人権とは、「人間の尊厳に基づいて各人が持っている固有の権利であり、社会を構成するすべての人々が個人としての生存と自由を確保し、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利」です。学校教育においては、平素から子ども一人一人がその発達段階に応じ、人権の意義や内容、重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度

や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるよう、「人権教育」に取り組んでいます。

しかし、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるような人権感覚は、そのことを子どもに繰り返し言葉で説明するだけで身に付くものではありません。学級をはじめ学校生活全体の中で自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを子ども自らを感じ取ることができるようにすることで初めて身に付くものです。一人の人間として自らが大切にされているという実感をもつことができなければ、自己や他者を尊重する感覚をもつことは容易ではありません。そのためには、子どもたちを取り巻く私たち大人(学校や家庭、地域、社会全体)自らが高い人権意識や人権感覚をもたなければなりません。子どもの教育には、周りにいる大人の在り方(環境)も大きく影響します。

具体的には、教育活動全体を通じて、ア) 他人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどが分かるような想像力や共感的に理解する力、イ) 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い分かり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能、ウ) 自分の要求を一方的に主張するのではなく建設的な手法により他人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能、などを総合的にバランスよく培うことが求められています。

そこで、本校としては、全国的に実施される人権週間を踏まえて、校内人権週間「北川小 なかよし週間」を12月7日(月)から11日(金)まで実施することにしました。具体的には、

- ◎呼び捨てをしないで、「〇〇さん」「〇〇くん」と呼ぶ。
- ◎1日に1回は、友達が「ありがとう」と言ってくれるようなことをする。
- ◎友達のいいことを見つけを行い、それを「人権ツリー」として掲示する。
- ◎「なかよし集会」を開催する。(12月11日 2校時)

### 11月の月目標 達成率は86%！！

11月の月目標「きもちのよいあいさつをしよう」の達成率は、123人中106名が達成できたと捉えていました。達成率は、約86%でした。なかなかの達成率です。確かに、オープンスクール期間中にいただいた感想にも元気のよいあいさつができていたとお言葉もたくさんありました。また、先日開催した避難訓練にお越しいただいた笠岡地区消防組合北出張所の方からも、あいさつやきもちのよい受け答えをほめていただきました。

12月の目標は「きまり正しいくらしをしよう」(放送・チャイム・集合・友達の呼び方)です。今年、そして2学期の締めくくりの12月。この調子でがんばりたいと思います。

